

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

	歳入科目款-細々節/所属/編成区分 名	充 当 額
	19-03-01-01-01/0140170000/0505 水道事業会計繰入金	736
特		
定		
財		
源		
の		
内		
訳		
	計	736

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	010	林業振興事業補助金	事業3	001	造林補助事業補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 森林組合等が行う森林整備（1施行地0.1ha以上、保安林・自然公園等は0.05ha以上）に対して助成する。
- ・目 的 森林資源の増強と森林の持つ公益的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、森林組合等が実施する相当規模の地域を単位とした造林事業に対し助成するもの。
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 概ね標高300m以上の水源の森林エリア内の森林整備によって、保水調節能力が高く、地表浸食防止に効果が高くなるなど、水源かん養等の公益的機能の維持向上
- ・目 標 値 2,090ha

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市林業振興事業補助金交付要綱
- ・計 画 秦野市森林整備計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費：
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）：1,635千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）：1,472千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：1,472千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・令和5年度 秦野市森林組合が策定する森林経営計画に則った植栽から保育にいたる造林事業について、事業費の1.5/10以内を助成している。
- ・令和6年度 秦野市森林組合が策定する森林経営計画に則った植栽から保育にいたる造林事業について、事業費の1.5/10以内を助成している。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

森林組合が策定する森林経営計画に則った植栽から保育にいたる造林事業に対し、予算の範囲内で助成している。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

森林経営計画に基づき、計画的に造林事業を実施し、森林資源の充実を図る。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業 1	057	0 1 0 5 0 2 0 1
事業 2	010	林業振興事業補助金	事業 3	001	造林補助事業補助金

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由
該当なし

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 令和4年度決算：植生保護柵1221.30m
 令和5年度決算：植生保護柵1320.80m
 令和6年度予算：植栽1.00ha、植生保護柵463.25m、下刈4.48ha
 令和7年度予算：植栽1.00ha、植生保護柵425.50m、下刈1.00ha

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

神奈川県で策定している各補助要綱等の見直し時期に合わせて、市の要綱についても見直しを図る。

- ・神奈川県造林補助事業補助金交付要綱 ・神奈川県造林補助事業実施要領 ・神奈川県協力協約推進事業実施要綱
- ・神奈川県協力協約推進事業補助金交付要綱 ・神奈川県間伐材搬出促進事業補助金交付要綱
- ・神奈川県間伐材搬出促進事業実施要綱

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組
該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 ・予算計上額（うち一般財源） 1,472千円（736千円）
 ・内 容 森林整備により二酸化炭素の吸収・固定化を推進する。

(3) 自然災害対策への取組
該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	010	林業振興事業補助金	事業3	002	民有林整備活用事業補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 苗木の植栽、間伐、枝打ち等の森林整備（一筆0.1ha以上1ha未満の森林を対象）に対して助成する。
- ・目 的 森林資源の増強と森林の持つ公益的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、国、県の補助事業である造林補助事業の対象とならない零細な森林を対象として、森林組合等が実施する森林整備と人工林の広葉樹への転換に対して助成する。また、所有者の森林経営に対する意欲の喚起と自立的な森林経営の環境整備を推進するため、木材搬出に対して助成するもの。
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 概ね標高300m以上の水源の森林エリア内の森林整備によって、保水調節能力が高く、地表浸食防止に効果が高くなるなど、水源かん養等の公益的機能の維持向上
- ・目 標 値 2,090ha

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市林業振興事業補助金交付要綱
- ・計 画 秦野市森林整備計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費：
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）：2,574千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）：2,317千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：2,317千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・令和5年度 1ha未満の森林を対象に、植栽、間伐、枝打ち等の森林整備に対し助成するもの。また、林業としての採算が見込まれない森林については、広葉樹への転換に対し支援を行い、補助金による長期間の整備支援が必要のない森林の拡大を推進する。
- ・令和6年度 1ha未満の森林を対象に、植栽、間伐、枝打ち等の森林整備に対し助成するもの。また、林業としての採算が見込まれない森林については、広葉樹への転換に対し支援を行い、補助金による長期間の整備支援が必要のない森林の拡大を推進する。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

1ha未満の森林を対象に、植栽、間伐、枝打ち等の森林整備に対し予算の範囲内で助成している。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	010	林業振興事業補助金	事業3	002	民有林整備活用事業補助金

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）〔A〕
1ha未満の森林所有者が約80%を占めているが、秦野市森林組合が森林経営計画を作成し、集約的な施業を推進しているため、今後、補助対象が減少すると思われる。

6 要求額の増減理由・根拠〔A〕

(1) 増減理由
該当なし

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
令和4年度決算：間伐材搬出2,778m³
令和5年度決算：間伐材搬出5,239m³
令和6年度予算：下草刈り0.50ha、保育間伐0.95ha、枝打ち0.71ha、間伐材搬出1,399m³
令和7年度予算：保育間伐0.25ha、枝打ち0.25ha、間伐材搬出2,057m³

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕
神奈川県で策定している各補助要綱等の見直し時期に合わせて、市の要綱についても見直しを図る
・神奈川県造林補助事業補助金交付要綱 ・神奈川県造林補助事業実施要領
・神奈川県間伐材搬出促進事業補助金交付要綱 ・神奈川県間伐材搬出促進事業実施要綱

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組
該当なし
(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・予算計上額（うち一般財源） 2,317千円（1,159千円）
・内 容 森林整備により二酸化炭素の吸収・固定化を推進する。
(3) 自然災害対策への取組
該当なし
(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 7年 2月12日

所属	0140170000		森林ふれあい課			前々年度決算額	前年当初額	要求額	査定額	増減額	出力段階	現段階
会計	01	一般会計				258,617	276,478	302,406	241,392	-35,086	目的	30 農林水産業費
款	05	農林費				258,617	276,478	302,406	241,392	-35,086		20 林業費
項	02	林業費				258,617	276,478	302,406	241,392	-35,086		
目	01	林業費				258,617	276,478	302,406	241,392	-35,086		
事業1	057	01050201				258,617	276,478	302,406	241,392	-35,086	補単区分	単独
事業2	010	林業振興事業補助金				4,209	8,129	9,266	9,266	1,137	臨経区分	經常経費
事業3	003	広葉樹林整備活用事業補助金				0	4,340	5,477	5,477	1,137	主要事業	
事業性質区分			重点ヒアリング	対象	主体区分	連結区分1		連結区分2		連結区分3		
新規継続	継続		ハード事業		評価対象	事業区分1		事業区分2		事業区分3		

区 分	財 源 内 訳					計	
	特 定 財 源				一般財源		
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料・手数料			その他
前年度予算額	0	0	0	0	0	4,340	4,340
本年度予算額	0	0	0	0	0	5,477	5,477
増減額	0	0	0	0	0	1,137	1,137
構成比(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0

[illegible]

	歳入科目款-細々節/所属/編成区分 名	称	充 当 額
特 定 財 源 の 内 訳			
		計	(

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	010	林業振興事業補助金	事業3	003	広葉樹林整備活用事業補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 秦野市森林組合に対し、広葉樹整備活用事業補助金を交付し、広葉樹林の整備を推進する。
- ・目 的 市内全域における手入れがされなくなり荒廃した広葉樹林の整備を通じた健全な里山づくり、未利用材の活用を行う。
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 広葉樹林を整備をすることにより、森林・里山が健全化する。針葉樹林と合わせた一体的な森林管理をすることで20年後には、秦野産ホダ木の生産が開始される。はだの里山保全再生活動団体等連絡協議会と本事業を連携することで、里山団体の活性化、新規会員の増加に繋がる。
- ・目 標 値 年間2ha

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 広葉樹整備活用事業補助金交付要綱
- ・計 画 秦野市森林整備計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）: 千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）: 4,340千円 ※新規事業
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 5,477千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）: 千円

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・令和5年度 該当なし
- ・令和6年度 森林・里山のアクションプランに基づき、秦野市森林組合が実施する広葉樹林の植栽から伐採、搬出に至る整備事業について、事業費の6.5/10以内を助成している。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

森林・里山のアクションプランに基づき、秦野市森林組合が実施する広葉樹林の伐採、搬出に至る整備事業について、予算の範囲内で助成している。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

地域水源林長期施業受委託事業の確保地内等において、未整備となっている広葉樹林について計画的に整備し管理する。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	010	林業振興事業補助金	事業3	003	広葉樹林整備活用事業補助金

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

伐採後の補植のため、苗木代経費分が増となったもの。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

神奈川県で策定している各補助要綱等の見直し時期に合わせ、市の要綱についても見直しを図る。

- ・神奈川県造林補助事業補助金交付要綱 ・神奈川県造林補助事業実施要領
- ・神奈川県間伐材搬出促進事業補助金交付要綱 ・神奈川県間伐材搬出促進事業実施要綱

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・予算計上額（うち一般財源）5,477千円（5,477千円）
- ・内 容 森林整備による二酸化炭素の吸収・固定化、搬出した材を薪として活用することで木質バイオマスを推進する。

(3) 自然災害対策への取組

該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	020	水源の森林づくり事業費	事業3	001	水源の森林づくり事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 県の施行する水源の森林づくり事業に参加し支援をする。
- ・目 的 森林の持つ公益的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、協力協約を締結したものが、自ら適正な森林の管理を行うことに対して助成するもの。
- ・SDGs 6 安全な水とトイレを世界中に
15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 概ね標高300m以上の水源の森林エリア内の森林整備によって、保水調節能力が高く、地表浸食防止に効果が高くなるなど、水源かん養等の公益的機能の維持向上
- ・目標値 2,090ha

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市林業振興事業補助金交付要綱
- ・計 画 秦野市森林整備計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）: 4,735千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）: 6,435千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 2,335千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）: 千円

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・令和5年度 県からの支援により、水源林エリアの林齢35年以上の森林について整備を推進するとともに、木材利用の促進を図るため、作業路の開設に対し助成するもの。
- ・令和6年度 県からの支援により、水源林エリアの林齢35年以上の森林について整備を推進するとともに、木材利用の促進を図るため、作業路の開設に対し助成するもの。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

水源かん養等の公益的機能の維持向上が必要な森林を計画的に整備できている。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

森林の公益的機能を発揮させるため、森林所有者と協力協約を締結して、自ら又は委託して行う森林整備に対して助成する。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	020	水源の森林づくり事業費	事業3	001	水源の森林づくり事業費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

事業者の行う森林整備面積の減少や施業内容の調整の結果、減額するもの。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和4年度決算：森林整備 9.36ha（間伐 6.94ha、枝打ち2.42ha）、作業路 503.00m
 令和5年度決算：森林整備 6.98ha（間伐 3.49ha、枝打ち3.49ha）、作業路 なし
 令和6年度予算：森林整備11.06ha（間伐 5.53ha、枝打ち5.53ha）、作業路 なし
 令和7年度予算：森林整備 1.58ha（間伐 1.58ha、枝打ち なし）、作業路 200.00m

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

県の水源の森林づくり事業を推進するための取り組みを継続して実施していく。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・予算計上額（うち一般財源） 2,335千円（35千円）
 ・内 容 森林整備により二酸化炭素の吸収・固定化を推進する。

(3) 自然災害対策への取組

該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible][illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	030	里山保全事業費	事業3	001	里山ふれあいの森づくり事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 里地里山の整備活動、普及啓発活動、ふれあい活動を行う里地里山保全再生活動団体に対して、補助金を交付する。
- ・目 的 放置された里地里山を保全再生させる。また整備された里地里山を活用したイベントを実施し、市民への里地里山に対する理解を深める。
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう
17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 里地里山を保全し、水源かん養等の森林の持つ公益的機能の回復を図るとともに市民への理解を深める。
- ・目標値 里山30ha、里地3haの整備を実施

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市里山ふれあいの森づくり事業補助金交付要綱
- ・計 画 はだの一世紀の森林づくり構想、秦野市森林整備計画、秦野市生物多様性地域連携保全活動計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）: 6,438千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）: 8,619千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 8,349千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）: 千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 里地里山保全再生活動団体による里地里山の整備に対する助成
- ・令和6年度 里地里山保全再生活動団体による里地里山の整備に対する助成

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

里地里山保全再生活動団体の会員の高齢化等に伴う会員の減少、担い手不足による団体数の減や事業縮小が課題となっており、新規団体の参入や新規事業地の確保が必要となっている。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

里山整備については県の水源環境保全・再生市町村補助金を、里地整備については県の里地里山保全等促進事業補助金を活用して引き続き補助を行う。また、森林環境譲与税を活用して令和元年度から実施している竹林整備への補助も継続する。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	030	里山保全事業費	事業3	001	里山ふれあいの森づくり事業費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

里地里山保全再生活動団体の事業縮小及び解散による交付金の減額

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和4年度決算 里山 31.89ha（27団体） 里地 3.46ha（5団体）

令和5年度決算 里山 31.95ha（28団体） 里地 3.63ha（5団体）

令和6年度予算 里山 53.64ha（28団体） 里地 3.77ha（6団体）

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

里地里山の保全活動は継続して行わないと効果が出ないため里地里山保全再生活動団体への補助を継続するとともに、里山保全再生事業や森林ふれあい事業により森林環境教育やボランティアの養成等を実施し、里地里山に対する市民の理解を深め、ボランティア活動の担い手の育成に努める。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・予算計上額（うち一般財源） 8,349千円（1,045千円）

・内 容 里地里山保全再生活動団体による森林整備活動により、二酸化炭素の吸収・固定化を推進する。

(3) 自然災害対策への取組

該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業 1	057	0 1 0 5 0 2 0 1
事業 2	030	里山保全事業費	事業 3	002	里山保全再生事業費（地域連携計画事業費）

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 秦野市生物多様性地域連携保全活動計画に基づいた里地里山保全再生事業を実施するとともに、各地域の里地里山の特色を生かした里山づくりを各地域の団体等と連携し実施する。
- ・目 的 森林づくりの実践活動を通して、市民の環境への理解が深まるとともに、市民主体の里地里山保全再生活動が持続的に行われ、多くの市民が散策、レクリエーション、環境学習の場として森林里山を活用できるようにする。
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう
17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 森林づくりの実践活動を通して、市民の環境への理解が深まるとともに、市民主体の里地里山保全再生活動が持続的に行われ、多くの市民が散策、レクリエーション、環境学習の場として森林里山を活用することにより「水とみどりに育まれ誰もが輝く暮らしよい都市」の実現に繋がる。
- ・目標値 市民等の里地里山保全再生事業への参加者数の増加

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 生物多様性地域連携促進法
- ・計 画 はだの一世紀の森林づくり構想、秦野市森林整備計画
秦野市生物多様性地域連携保全活動計画、里地里山保全再生モデル事業地域戦略

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 372千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 389千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 436千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 地元協力者、ボランティア等と連携して、里地里山の整備、各種イベント等を実施
ボランティア養成研修の開催、里山協力隊の活用
- ・令和6年度 地元協力者、ボランティア等と連携して、里地里山の整備、各種イベント等を実施
ボランティア養成研修の開催、里山協力隊の活用

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業 1	057	0 1 0 5 0 2 0 1
事業 2	030	里山保全事業費	事業 3	002	里山保全再生事業費（地域連携計画事業費）

ボランティア養成研修や上地区いなか暮らし体験ツアーなどで地元協力者及び各地区の里山ボランティア団体と連携し、特色を生かした里地里山イベントを実施した。引き続き、市内外へのPRや他の里地里山関連事業との連携を図り、持続的な里地里山活動を推進する。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

市全域・各地域での保全事業、里山ボランティア養成研修等の継続的な事業の実施に加え、森林セラピー事業等との連携により、多くの市民が里地里山に興味関心を抱いてもらうよう努める。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

指導者謝金の見直し及びOMOTANポイントの導入による増額。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

ボランティア養成研修参加者数

- ・令和4年度 12人
- ・令和5年度 11人
- ・令和6年度 12人

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

各団体で魅力ある活動を展開し、参加費の徴収等による自主財源を確保できるようにする。また、各イベントの参加者が研修修了後にボランティア団体に加入できる環境を整え、里山整備の担い手増加を目指す。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・予算計上額（うち一般財源） 10千円（10千円）
- ・内 容 下草刈り等のボランティア参加者に電子通貨ポイントを付与する。

(3) 自然災害対策への取組

該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	030	里山保全事業費	事業3	003	ふるさと里山整備事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 県の水源環境保全・再生市町村補助金等を活用し、地域水源林エリアにおいて手入れの必要な私有林、共有林について、市と森林所有者で協約書を締結し、委託事業により事業者による里山整備を実施する。
- ・目 的 市内全域における、手入れがされなくなり荒廃した里山林の整備を通じた森林の公益的機能の向上を目的とする。
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 森林の公益的機能の向上
- ・目標値 事業実施による新規里山林整備面積（累計） 587ha
（平成14年度から令和7年度）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 かながわ水源環境保全・再生施策大綱、かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 57,844千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 68,491千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 53,392千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・令和5年度 7.70haの森林整備、30.29haの測量調査
- ・令和6年度 30.29haの森林整備、4.17haの測量調査

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

対象森林面積1,159haに対し、令和5年度までに557.39haを整備し、着実に森林の公益的機能の向上に寄与している。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

第4期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画の4年目の事業となり、整備4.17ha、測量調査22.91haを行うもの。
また、県補助事業での未整備箇所について、鳥獣被害やナラ枯れ等の課題解決に向けた里山林整備を実施する。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	030	里山保全事業費	事業3	003	ふるさと里山整備事業費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・5か年計画に基づき調査及び整備箇所を選定した結果による減額
- ・里山林整備箇所を選定した結果、面積が減少することによる減額

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・令和4年度 整備20.49ha（2件）、測量調査 7.70ha（1件）
- ・令和5年度 整備 7.70ha（1件）、測量調査30.29ha（4件）
- ・令和6年度 整備30.29ha（4件）、測量調査 4.17ha（1件）

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

第4期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画（R4～R8）に基づき継続して実施する。

また、県補助事業での未整備箇所について、鳥獣被害やナラ枯れ等の課題解決に向けた里山整備に取組む。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・予算計上額（うち一般財源） 53,392千円（684千円）
- ・内 容 森林整備により二酸化炭素の吸収・固定化を推進する。

(3) 自然災害対策への取組

該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業 1	057	0 1 0 5 0 2 0 1
事業 2	030	里山保全事業費	事業 3	004	地域水源林長期施業受委託事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 県の水源環境保全・再生市町村補助金を活用し、水源環境保全・再生への取組みを推進するため、秦野市森林組合に対し、地域水源林長期施業受委託事業補助金を交付し、森林施業の集約化を図り、持続可能な人工林の適切な整備を行う。
- ・目 的 地域水源林を健全に育成し、水源涵養等森林の持つ公益的機能を高度に発揮させることを目的とする。
- ・SDGs 6 安全な水とトイレを世界中に
15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 森林の公益的機能の向上
- ・目 標 値 県で策定している第4期水源環境保全・再生実行5か年計画の中で設定

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 かながわ水源環境保全・再生施策大綱
- ・計 画 かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）: 124,520千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）: 144,230千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 135,190千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）: 千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 49.80haの確保業務、36.07haの森林整備、128.58haの管理業務
- ・令和6年度 47.00haの確保業務、27.15haの森林整備、192.62haの管理業務

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

森林施業の集約化が進み、持続可能な人工林の管理が着実に進んでいる。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

本年度は、第4期水源環境保全・再生実行5か年計画の4年目の事業となり、地域水源林内の人工林のうち、12.80haの確保、35.50haの整備及び225.95haの管理のほか、作業路整備等を実施する。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業 1	057	0 1 0 5 0 2 0 1
事業 2	030	里山保全事業費	事業 3	004	地域水源林長期施業受委託事業費

6 要求額の増減理由・根拠〔A〕

(1) 増減理由

事業主体である秦野市森林組合と事業量について調整した結果、減額するもの。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和4年度決算：確保66.40ha、整備31.76ha、管理141.43ha

令和5年度決算：確保49.80ha、整備36.07ha、管理128.58ha

令和6年度予算：確保47.00ha、整備27.15ha、管理192.62ha

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕

第4期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画（R4～R8）に基づき継続して実施する。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・予算計上額（うち一般財源）135,190千円（135,190千円）

・内 容 森林整備により二酸化炭素の吸収・固定化を推進する。

(3) 自然災害対策への取組

該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

	歳入科目款-細々節/所属/編成区分 名	称	充 当 額
特			
定			
財			
源			
の			
内			
訳			
			(
	計		

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業 1	057	0 1 0 5 0 2 0 1
事業 2	030	里山保全事業費	事業 3	005	森林セラピー推進事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 森林セラピー基地及び森林セラピーロード等において、多様な地域資源や多様な主体と連携させながら、市民や都市住民等を対象に森林セラピーイベントを開催するなど、事業の推進を図る。
- ・目 的 森林セラピー事業を実施する団体に交付金を交付し、イベント開催や体験プログラムの開発、人材育成、森林セラピーロード整備・管理、都市部等への普及啓発を実施する。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
8 働きがいも経済成長も
15 陸の豊かさを守ろう
17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 森林セラピー基地及び森林セラピーロードを整備し、事業を実施することにより、地域の環境を活かした健康づくりや生きがいの場が創出されるとともに、都市住民や企業等の観光、心と身体の健康づくりの場としての利用が進み、交流人口や関係人口等の増加が図られる。
- ・目 標 値 森林セラピーイベント開催数 25回／年（令和7年度以降）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 はだの一世紀の森林づくり構想、秦野市森林整備計画、秦野市生物多様性地域連携保全活動計画、秦野市観光振興基本計画、秦野市健康増進計画、表丹沢魅力づくり構想

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
 ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 2,540千円
 ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 1,430千円
 ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 1,124千円
 ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 1,124千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 持続可能な運営体制としてはだの表丹沢森林セラピー協議会が、イベント開催や体験プログラムの開発、人材育成、森林セラピーロードとしての整備・管理を実施
- ・令和6年度 持続可能な運営体制としてはだの表丹沢森林セラピー協議会が、イベント開催や体験プログラムの開発、人材育成、森林セラピーロードとしての整備・管理を実施

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業 1	057	0 1 0 5 0 2 0 1
事業 2	030	里山保全事業費	事業 3	005	森林セラピー推進事業費

- 4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）〔C〕
森林セラピー事業の管理・運営体制や人材の確保及び育成、都市部等への周知広報が課題
- 5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）〔A〕
はだの表丹沢森林セラピー協議会によりイベントの実施・拡大を図り、体験プログラムの開発や人材育成、環境の整備・管理を行うとともに、都市部等への普及啓発を目的とした広報を推進するものとする。
- 6 要求額の増減理由・根拠〔A〕
 - (1) 増減理由
補助対象経費の見直しによる交付金の減
 - (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 - ・ 令和4年度 はだの表丹沢森林セラピー協議会の開催
はだの表丹沢森林セラピーガイドの登録、研修会の開催、資格取得補助制度の運用
「はだの表丹沢森林セラピー基地」及び5つの「森林セラピーロード」
体験イベント：24回
 - ・ 令和5年度 はだの表丹沢森林セラピー協議会の開催
はだの表丹沢森林セラピーガイドの登録、研修会の開催、資格取得補助制度の運用
「はだの表丹沢森林セラピー基地」及び5つの「森林セラピーロード」
体験イベント：36回
 - ・ 令和6年度 はだの表丹沢森林セラピー協議会の開催、ガイド部会の開催
はだの表丹沢森林セラピーガイドの登録、研修会の開催、資格取得補助制度の運用
「はだの表丹沢森林セラピー基地」及び5つの「森林セラピーロード」
体験イベント：31回
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕
積極的な事業展開を図ることで、森林、観光、医療を通じた地域振興の実現を図る。
- 8 その他
 - (1) 市制施行70周年を契機とした取組
森林セラピーフォーラムの開催
 - (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
 - (3) 自然災害対策への取組
該当なし
 - (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業 1	057	0 1 0 5 0 2 0 1
事業 2	030	里山保全事業費	事業 3	005	森林セラピー推進事業費

該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業 1	057	0 1 0 5 0 2 0 1
事業 2	040	林道整備事業費	事業 3	001	林道整備事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 森林資源の有効活用を図るうえで、伐採、搬出等の作業をスムーズに進めるための林道を整備する。
- ・目 的 林道整備等により森林施業の効率化を促進させ、森林の持つ公益的機能を総合的かつ高度に発揮させる。
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 森林資源の有効活用を図る。
- ・目 標 値 森林組合で計画する森林施業の効果的な進捗を図るため、毎年整備をする。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 森林・林業基本法
- ・計 画 秦野市森林整備計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 5,894千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 6,600千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 6,600千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 6,600千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 六本松林道の整備
- ・令和6年度 六本松林道の整備

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

森林施業の効率化が促進されたほか、林道の安全の確保及び土壌の保全が図られた。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・森林施業等に合わせ、計画的な整備の進捗を図る。
- ・向山林道の整備

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- #### (1) 増減理由
- 増減なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業 1	057	0 1 0 5 0 2 0 1
事業 2	040	林道整備事業費	事業 3	001	林道整備事業費

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 令和4年度 源蔵畑林道整備工事 延長34m（コンクリートブロック擁壁工、アスファルト舗装工ほか）
 令和5年度 六本松林道整備工事 延長160m（コンクリート舗装工ほか）

- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
 森林組合と必要性を検討したうえで、整備が必要な場合は県と調整していく。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
 該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 該当なし
- (3) 自然災害対策への取組
 該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業 1	057	0 1 0 5 0 2 0 1
事業 2	050	林道補修事業費	事業 3	001	林道補修事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 国や県の補助対象とならない林道の補修事業を実施する。
- ・目 的 林道を補修することにより、林業の安全管理とその効率化を図る。
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 林道を補修することにより、林業の安全管理とその効率化を図る。
- ・目標値 設定なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 森林・林業基本法
- ・計 画 秦野市森林整備計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
 ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 6,088千円
 ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 5,977千円
 ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 5,977千円
 ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 5,977千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 羽根林道、桜沢林道及び向山林道の補修工事
- ・令和6年度 羽根林道、桜沢林道及び向山林道の補修工事

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

林道の破損箇所等を補修し、林業関係車両の安全確保と林道の維持管理に努めた。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・羽根林道、桜沢林道及び向山林道の補修

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	050	林道補修事業費	事業3	001	林道補修事業費

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和4年度決算：羽根林道、桜沢林道、向山林道の補修工事

令和5年度決算：羽根林道、桜沢林道、向山林道の補修工事

令和6年度予算：羽根林道、桜沢林道、向山林道の補修工事

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

森林整備を適切に実施するとともに、林業の生産性向上を図るため、林道の補修を進める。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(3) 自然災害対策への取組

該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業 1	057	0 1 0 5 0 2 0 1
事業 2	060	森林ふれあい事業費	事業 3	001	森林ふれあい事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 市民や学生に対して、森林学習・森林体験を実施し「森林・林業の大切さ」を体得することにより森林や木に親しみふれあう場を提供する。
- ・目 的 森林や木に親しみふれあう場を提供することにより、森林の管理・機能に関心を抱いてもらう。
- ・SDGs 4 質の高い教育をみんなに
15 陸の豊かさを守ろう
17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 市内の森林・里地里山の普及啓発、里地里山保全再生活動への理解、担い手の発掘に繋がる。
- ・目標値 北小学校森林体験学習の継続、里山まつりの実施

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市森林整備計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）: 533千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）: 576千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 567千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）: 567千円

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・令和5年度 北小学校森林体験学習、里山まつり、里地里山フォトコンテスト、木工芸作品展の実施
- ・令和6年度 北小学校森林体験学習（※熊目撃情報により中止）、里山まつり、里地里山フォトコンテスト、木工芸作品展の実施

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

環境学習や啓発事業においては、森林整備や里地里山に関心をもちただけでなく、保全再生活動への継続した参加に繋げていく必要があり、里山ふれあいの森づくり事業、里山保全再生事業などとの連携を進めていく。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

北小学校森林体験学習、里山まつり、木工芸作品展の拡大、その他里山整備活動への協力等

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業 1	057	0 1 0 5 0 2 0 1
事業 2	060	森林ふれあい事業費	事業 3	001	森林ふれあい事業費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

フォトコンテストを実施しないことによる報償費の減。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

地域住民や団体、学校、市、県、林業関係機関等が連携して、放置された広葉樹を主体とした森林を、自然とのふれあいや生きがいの場として有効に活用し、森林の活性化と森林や林業に対する意識の高揚、森林環境教育を進める。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(3) 自然災害対策への取組

該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	070	里山ふれあいセンター管理運営費	事業3	001	里山ふれあいセンター管理運営費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 地域林業者の活動を促進し、森林及び林業に対する市民の理解を深め、林業の活性化を図るための拠点施設として、施設の管理運営をする。
- ・目 的 森林及び林業に対する市民の理解を深める。
- ・SDGs 8 働きがいも経済成長も
15 陸の豊かさを守ろう
17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 間伐材等の利用促進、木工製品の普及啓発、地場産木材の活用促進につながっている。
- ・目 標 値 指定管理者の自主事業を一層充実させ、広報活動を積極的に行うことにより、来場者の増加につなげる。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市里山ふれあいセンター条例、同条例施行規則、秦野市里山ふれあいセンターに係る指定管理者選定評価委員会規則
- ・計 画 なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 12,089千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 7,572千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 7,532千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和5年度・令和6年度 of 取組内容[D]

- ・令和5年度 指定管理者選定評価委員会（年1回）を開催し、指定管理者の管理運営や自主事業の内容について審査を行い、今後の管理運営に反映させた。
- ・令和6年度 指定管理者選定評価委員会（年2回）を開催し、指定管理者の管理運営や自主事業の内容について審査を行うとともに、令和7年度以降の第5期指定管理者を選定した。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

秦野市森林組合の指定管理により、森林や林業に対する市民の理解を深めている。引き続き、質の高い管理運営を継続していく。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業 1	057	0 1 0 5 0 2 0 1
事業 2	070	里山ふれあいセンター管理運営費	事業 3	001	里山ふれあいセンター管理運営費

- 5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）〔A〕
指定管理者による管理運営が、施設の設置目的を達成するとともにサービスの向上が図られているかを確認する必要があることから、指定管理者選定評価委員会を開催し、指定管理者の管理運営、自主事業の内容等について、外部評価を実施し、その結果を今後の管理運営に活かしPDCAサイクルを確立し、質の高い管理運営につなげていく。
- 6 要求額の増減理由・根拠〔A〕
- (1) 増減理由
指定管理者選定評価委員会の開催を年1回としたことによる減額。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕
より多くの人に施設を利用していただくために、市、指定管理者がともに広報活動に力を入れるよう努める。
- 8 その他
- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・施設予約、キャッシュレス、電子通貨を導入する。
- (3) 自然災害対策への取組
該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業 1	057	0 1 0 5 0 2 0 1
事業 2	080	木のある暮らしづくり事業費	事業 3	001	木のある暮らしづくり事業費

事業の概要

1 事業概要〔P〕

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 木材の利用を促進することで森林の循環サイクルを構築し、林業の活性化や荒廃している森林の回復を図るため、木とふれあう機会を創出するとともに秦野産木材の普及啓発を推進する。
- ・目 的 森林を保全するには、間伐等の森林整備を実施するとともに、森林から生産される木材を活用するなど循環の仕組みが必要となってくる。
そのため、県の「かながわ木づかい運動」と連携を図りながら、木材利用に対する意識啓発を推進するとともに、秦野産木材の需要拡大に取り組む。
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを
15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 秦野産木材の需要拡大を図ることにより、林業の活性化や森林の整備につながる。
住宅の新築及びリフォームに助成することにより、秦野産木材の利用促進が図られる。
- ・目 標 値 秦野産木材を使用する住宅の新築及びリフォームにかかる経費の補助件数。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市快適な住まいづくり補助金交付要綱
- ・計 画 はだの一世紀の森林づくり構想

2 全体計画〔P〕

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）:
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）: 5,405千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 6,526千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）: 千円

3 令和5年度・令和6年度の実施内容〔D〕

- ・令和5年度 小学校児童用机天板補修を行い、地場産木材の普及啓発を図る。
秦野産材を使用した新築及びリフォームに係る経費の補助を行った。
- ・令和6年度 小学校児童用机天板補修を行い、地場産木材の普及啓発を図る。
市民等が木とふれあう機会を創出するため、秦野産材を使用したヒノキ玉、ペアコースターを作成し、出生届や婚姻届提出時に配付した。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）〔C〕

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	080	木のある暮らしづくり事業費	事業3	001	木のある暮らしづくり事業費

小学校児童用机の天板に無垢の秦野産ヒノキを使用して作成し、一部の児童に使用してもらっている。子どもたちに秦野の木に触れる機会をすることで、木育の促進につながっている。一方で、学校から「無垢のため水ぶきができない」や「柔らかく書きづらい」など課題の声もあり、費用対効果を検証しながらより良い方法を検討する。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

生涯を通した秦野の木とのふれあいとして、関係課と連携しながら、ヒノキ玉や木のおもちゃ、木製紙卒業証書、婚姻祝い品、丸太ベンチ、敬老記念品などを作製し、市民生活のさまざまな場面で木とふれあえる機会を創出する。
メンテナンスが不要な秦野産広葉樹を活用した小学校児童用机の天板を作成する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

広葉樹天板作成、人件費、材料費等の高騰による増額。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和3年度 快適な住まいづくり補助金 4件
令和4年度 快適な住まいづくり補助金 3件
令和5年度 快適な住まいづくり補助金 2件

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

秦野産木材のブランド化及び流通拡大に向けて課題を解決する手法を検討する。
市民生活のさまざまな場面で木とふれあう機会を創出する。
市内事業者が施工する住宅等の新築及びリフォームにかかる経費を助成することで、秦野産材の需要拡大につなげる。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

・予算計上額（うち一般財源）2,997千円（2,997千円）
・内 容 ヒノキ玉、婚姻祝い品、丸太ベンチ等

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・予算計上額（うち一般財源）6,526千円（5,251千円）
・内 容 ヒノキ玉、婚姻祝い品、丸太ベンチ、天板等により木材利用を促進するとともに啓発する。

(3) 自然災害対策への取組

該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

歳入科目款-細々節/所属/編成区分 名 称		充 当 額
特 定 財 源 の 内 訳		
計		(

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業 1	057	0 1 0 5 0 2 0 1
事業 2	090	森林資源活用拠点事業費	事業 3	001	森林資源活用拠点事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 羽根地内市有地について、令和5年2月に策定した「羽根森林資源活用拠点（仮称）における土地利用構想」に基づき、秦野の森林資源を最大限に活かし、かつ本市が目指すカーボンニュートラルに貢献する拠点となることを目指す。
- ・目 的 羽根地内市有地の活用について、羽根森林資源活用拠点（仮称）における土地利用構想を具現化し、表丹沢の魅力向上につながる土地利用を図る。
- ・SDGs 8 働きがいも経済も
15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 木材の需要拡大を図ることにより、林業の活性化や森林の循環につながる。
- ・目 標 値 ・森林資源を活用しつつ、カーボンニュートラルに貢献する拠点を旨す。
・周辺施設と連携しながら、表丹沢の本物の魅力を体験し、学べる施設を目指す。
・様々な主体が関わることで、表丹沢の多様な価値を引き出す施設を目指す。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 はだの一世紀の森林づくり構想
羽根森林資源活用拠点（仮称）における土地利用構想
羽根森林資源活用拠点（仮称）における土地利用計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 25,546千円
・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 8,580千円
・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 312千円
・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 土地利用計画の策定、ボーリング調査、サウンディング調査
- ・令和6年度 経済波及効果等調査、民間事業者の選定方法の検討

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

土地利用構想を具現化した土地利用計画に基づき、サウンディング型市場調査を実施し、経済波及効果等を検証した。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	090	森林資源活用拠点事業費	事業3	001	森林資源活用拠点事業費

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
公民連携の検討会により民間事業者の選定に向けて取り組む。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- (1) 増減理由
経済波及効果等調査の終了による減額。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
参入する民間事業者の選定方法を検討し、選定する。
公有地の有効活用を図るため造成工事を実施する。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・製材・加工機能による木材利用の促進、バイオマス施設によるゼロカーボンの推進。
- (3) 自然災害対策への取組
・造成工事による土砂災害特別警戒区域の指定解除
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

	歳入科目款-細々節/所属/編成区分 名	称	充 当 額
特 定 財 源 の 内 訳			
		計	(

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7 年 2 月 12 日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業 1	057	0 1 0 5 0 2 0 1
事業 2	100	市民による森林づくり事業費	事業 3	001	市民による森林づくり事業費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 内容・目的・SDGs の該当目標

- ・内 容 市民主体の植樹・育樹・活樹事業の一環として事業を実施する。
- ・目 的 秦野市植樹祭など植樹・育樹・活樹事業を実施する団体に交付金を交付し、はだの一世紀の森林づくり構想の推進を図る。
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 秦野市民の共通財産である森林資源を後世に残す。
- ・目標値 次の世代が引き続き森林の恩恵を受けれるよう取り組む。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 はだの一世紀の森林づくり構想

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 1,805千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 1,591千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 1,246千円
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容 [D]

- ・令和5年度 第15回秦野市植樹祭の開催 (弘法山公園内)
次世代への森林づくり (下草刈り) の実施、市民の日などへの出展
- ・令和6年度 第16回秦野市植樹祭の開催 (頭高山)
次世代への森林づくり (下草刈り) の実施、市民の日などへの出展

4 事業の自己評価 (効果、目標値に対する検証・課題・問題点等) [C]

市民主体の植樹・育樹・活樹事業の一環として事業が実施できた。

5 令和7年度の主な取組 (課題解決への取組等) [A]

植樹事業: 植樹祭の開催
育樹事業: 下草刈りなど

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	100	市民による森林づくり事業費	事業3	001	市民による森林づくり事業費

活樹事業：秦野産材の活用・PR

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

活樹事業について、全国削ろう会に関連した啓発経費の減額。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・令和4年度 緑の祭典” かながわ未来の森づくり” 2022inはだの開催、次世代への森林づくり（下草刈り）の実施、市民の日などへの出展
- ・令和5年度 第15回秦野市植樹祭の開催（弘法山公園内）次世代への森林づくり（下草刈り）の実施、市民の日などへの出展
- ・令和6年度 第16回秦野市植樹祭の開催（頭高山）次世代への森林づくり（下草刈り）の実施、市民の日などへの出展

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

- ・全国育樹祭の誘致に向けて、育樹事業の取り組みを推進する。
- ・民間団体等の補助金を活用する。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
 - ・市制施行70周年を記念した植樹祭を開催する。
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 - ・植樹祭等により森林づくりを推進する。
- (3) 自然災害対策への取組
該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 7年 2月12日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業 1	057	0 1 0 5 0 2 0 1
事業 2	110	林業事務費	事業 3	001	林業事務費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 林業振興及び治山林道関連事業等のための事務経費
- ・目 的 林業振興及び治山林道関連事業等のための事務経費
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 該当なし
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 : 事業費 (進捗率) : 2,241千円
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 2,454千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 2,540千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 千円
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) :

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 林業振興及び治山林道関連事業等のための事務の執行
- ・令和6年度 林業振興及び治山林道関連事業等のための事務の執行

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

該当なし

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

各種負担金、委託金等の支出

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

全国育樹祭視察に係る旅費の増額

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業 1	057	0 1 0 5 0 2 0 1
事業 2	110	林業事務費	事業 3	001	林業事務費

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・ 令和4年度 第45回全国育樹祭 大分県豊後大野市、大分市
- ・ 令和5年度 第46回全国育樹祭 茨城県潮来市、水戸市
- ・ 令和6年度 第47回全国育樹祭 福井県福井市、鯖江市、越前市

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕

引き続き事務を適正に執行していく。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (3) 自然災害対策への取組
該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし